

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 10. 31

下水道機構の『新技術情報』 第19号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

本日10月31日は「ガス記念日」。1872(明治5)年9月29日(新暦10月31日)、横浜の馬車道でガス灯が点灯された日だそうです。来月は、日本ガス協会さんと共催で新技術現場研修会@清瀬水再生センター汚泥ガス化炉施設を行います。温暖化対策やエネルギー対策として活用が期待される下水道から得られるガス。ちなみに馬車道には、今はもう造られていませんが、下水汚泥から作られた横浜市ハマレンガが一部使われていて、これは消化ガスを使って焼かれていたと聞きました。ガスと下水道、いろんところで関わりがあるんですね。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第19号をお届けします。

業務に、Tea Breakにご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・10月24日(月)、東京青山のアイビーホールにて、当機構の事業報告会を開催しました。
- ・11月10日(木)の技術サロンは、国土交通省下水道部の植松対策官をお迎えし、「下水道事業予算」をテーマに開催します。
- ・10月15日(土)～19日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)参加報告！

★Tea Break

- ・癒される(小山事務局長からの投稿です)

★みなさまからのコラム

- ・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

- ・10月27日付け下水道ホットインフォメーションです

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

●10月24日(月)、東京青山のアイビーホールにて、当機構の事業報告会を開催しました。

特別ゲストに東北大学大学院の大村達夫教授をお迎えし、「東日本大震災からの復興への提言」と題して講演いただきました。先生は、国の下水道地震・津波対策技術検討委員会委員

や復興支援スキーム検討分科会座長もなされています。

ご講演では、復旧、復興の考え方や、仙台市南蒲生浄化センターの復旧案等が紹介されました。その中で、復興は未来志向型とし、21世紀の諸課題の解決に貢献できる下水道施設への転換を目指すべきだという考えや、社会に合わせて下水道を整備するという発想ではなく、下水道の整備が地域社会の形成をリードするということがあってもいいのではという投げかけがありました。今後の復興に向けて意見等を頂きたいとのことでしたので、皆様、是非、先生に考え等をお伝えください。南蒲生浄化センター近くの蒲生干潟も、津波で大きな被害を受けたそうです。しかし、徐々に植生等が復活してきているそうです。このように自然は確実に復活するが、社会インフラは人の手で復活させなければならないという言葉でご講演が締めくくられました。

続いて機構からの報告は、地震関連がメインとなりました。企画部から事業のあらましの報告の後、研究第一部からは「危機管理対策の推進に関する研究」が、研究第二部からは「リアルタイム雨水情報ネットワーク」と「東日本大震災における液状化による下水道管路被害状況」が資源循環研究部からは「下水処理場に流入する放射性物質の動向」と「汚泥減量化技術」が報告されました。現在、機構で行っている事業の一部しかご報告できませんでしたが、今後もセミナーや研究発表会等の場が予定されております。このような場で最新の技術情報をお伝えしていきたいと考えておりますので、多くの方々にご参加いただければと思います。

※セミナー等の情報は機構のホームページ <http://www.jiwet.or.jp/>でご確認いただけます。

●11月10日の技術サロンは、国土交通省下水道部の植松対策官をお迎えし、「下水道事業予算」をテーマに開催します。

平成23年度第3次補正予算案が閣議決定されるとともに、現在、平成24年度の予算要求に向けての各種作業が国において精力的に進められております。このような中、下水道事業予算編成等の中心的役割を担われている国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課の植松龍二町村下水道対策官をお迎えし、11月の技術サロンを開催いたします。

内容は、下水道事業に関わる平成23年度の第3次補正及び24年度予算等についてです。下水道事業予算も国庫補助金から社会資本整備交付金、さらには内閣府とりまとめた地域戦略交付金等へと制度が複雑、多岐となってきました。特に地域戦略交付金は来年度か

ら市町村への適用が検討されています。

事業を進める上での重要な予算。この最新の情報に触れられてみてはいかがでしょうか？
11月10日（木）の17:00～18:00までで機構8階会議室にて開催です。出張等のお帰りでも参加いただけますので、どうぞお気軽にお越しください。

※お申し込みは、機構ホームページから <http://www.jiwet.jp/school/school-07-298.htm>

●10月15日(土)～19日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)参加報告！

当機構から4名が参加し、下水汚泥からのリン資源化技術開発、下水道設備の診断技術開発、下水道管路の技術開発、浸水対策の技術開発について口頭発表（1人）、ポスター発表（3人）を行いました。その結果報告について今週号から4回に渡って、参加した4名の方の参加報告をお届けします。

まず第1回目は、研究第二部の伊東研究員からの報告です。

=====

WEFTEC2011は、ロサンゼルスを中心街ダウンタウンにあるコンベンションセンターにて行われました。会議が開催された10/15-19は10月中旬にもかかわらず、昼間は毎日25℃以上となる陽気が続きましたが、日本とは違って乾燥地帯であるため、大変過ごしやすかったように感じました。

私は、「トライボロジーを活用した設備診断技術に関する研究」の成果報告について、口頭発表を行いました。私が発表を行ったセッション会場は、展示会場の中に作られたブース（10m×20m程）内で行われました。ブースの囲いが青色の透明板でできており、ブース外からでも中の様子が見えて、会議室とは一風変わった趣の会場でした。発表後の質問も聴衆者よりいくつかいただき、本研究に関心を持っていただいたことに嬉しく思いました。

さて、ロサンゼルスダウンタウンをいろいろ回って歩いていると、非常に多くの人種（欧米系、黒人系、中南米系、東洋系、他？）とすれ違い、まさに「人種のるつぼ」を体感することができました。私にとっては初めての国際会議参加および初海外でありましたが、6日間の滞在期間中の多くの出来事が貴重な経験となりました

機構の動き （機構の行事予定です）

●11月10日(木)17:00～18:00

第298回技術サロン（場所：機構会議室、講師：国土交通省 水管理・国土保全局下水道事業課 町村下水道対策官 植松龍二氏、テーマ：「下水道事業予算について（社会資本整備交付金及び地域戦略交付金）」）

参加申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-298.htm>

●11月15日(火) 13時00分～17時00分

第2回水処理新技術実用化評価委員会（場所：福岡市東部水処理センター）

主な議題 現地調査及びNADHシステムなど3件の審議

●11月17日（水） 13時30分～16時45分

第2回汚泥処理新技術実用化評価委員会（場所：機構8F特別会議室）

主な議題 汚泥ガス化炉施設の性能評価など2件の審議

●第55回新技術セミナー

11月18日（金）13:00～16:45 東京会場@発明会館

11月25日（金）13:00～16:45 大阪会場@大阪科学技術センター

参加申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm

★11月25日（金）13:30～

防食シートライニング工法協会「第7回技術講習会」（場所：TKP 東京駅ビジネスセンタ

ー

29H) 当研究第一部の森田部長が出席し、「震災と下水道（仮称）」について講演します。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●癒される（小山局長からの投稿です）

皆さんは「癒される」って、どんなときに感じますか？

例えば、仕事に追われ疲れがピークになっているとき、職場の女性に『いつもお疲れさまです。息抜きに軽く一杯行きませんか？』と笑顔で誘われたときに、もうそれだけで癒される人、デスクトップの壁紙に載せるほど可愛がっている猫が所かまわず反吐を吐いても、泥酔して帰宅したときに爆睡している妻の顔の上を踏みつけながら甘い鳴き声を振り絞って出迎えてくれることに最高の癒しを感じる人、など人それぞれにいろいろな癒され方がありますね。

さて、かく言う私は最近、こんなお国ことばに癒されています。

生活の拠点を今の住まいに移してからその存在が気になっている店が最寄りの私鉄駅の界隈にあります。店の名は「JYONNOBI」（じよんのび）という洋風の小さなスナックですが癒されるのはまだ入ったことのないこの店名にあります。「じよんのび」とは、私の故郷（新潟）のお国ことばで、「ゆったりのんびりして芯から心地がいい」ことをいい、語源は諸説ありますが「寿命が延びる」という説が有力です。

「きょうは、あったかくてほんとにじよんのびだねー」田舎ではいつでもどこでも交わすことばですが、長くて厳しい冬の季節から解放され、春の息吹を感じさせるふきのとうが芽を吹き出す頃、やわらかい陽射しの中で村人たちが挨拶代わりに交わすこのことばが最も相応しい時かなと思っています。故郷から長いこと離れ、忘れかけていた郷愁にかられるお国ことばに時を経て再び巡り合い癒されています。

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

●掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。
情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション（2011.10.27 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

今回は 10 月から下水道企画課の新設ポスト「国際技術企画係長」に就いた新井小百合さんからメッセージを頂きました。その名の通り、国際水ビジネス展開を担当しています。

その他、今週は埼玉県、J S、管路管理業協会から情報を頂きました。

=====

10 月から国土交通省下水道企画課配属で国際担当となりました新井と申します。

北陸の河川や港湾、土木研究所等の所属経験のみで、霞ヶ関も国際も初心者です。

前職の土木研究所では、向上心を持って下水道事業を行う地方公共団体の方々の姿勢と、失敗を繰り返しながらも困っている人を助けたいという研究者の思いを教えていただきました。研究所で行き詰まった時に皆様に教えていただいたことが、大きな支えとなりました。心より感謝しております。ありがとうございました。

知識も語学力も不足していますが、下水道に携わる方々が発展させた日本の下水道技術を正しく海外で普及させる一助となるように努めたいと思います。そのためにも皆様に様々な事を教えていただけるように、依頼メールと人間の多い霞ヶ関でも気軽にお話してもらえるように心がけていきたいと思います。よろしくお願い致します。

=====

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道の復興支援調査に着手します【下水道企画課】

○下水道法施行令の一部を改正する政令が閣議決定されました！【下水道企画課】

○パブリックコメントが開始されました！【下水道企画課】

●「ウォータービジネスメンバーズ埼玉」を設立しました。【埼玉県】

●放射能測定業務の測定対象を拡大【J S】

●セミナー及び技術発表会の開催について【下水道管路管理業協会】

=====

○下水道の復興支援調査に着手します【下水道企画課】

～下水道地震・津波対策技術検討委員会復興スキーム支援分科会（第二回）を開催～
国土交通省と(社)日本下水道協会は、10月25日に標記分科会を開催しました。

国土交通省からは、

- ・気仙沼市を対象とした「ハイブリッド下水道システム」
- ・仙台市を対象とした「管路の下水熱利用システム」

の事業可能性調査に着手すること、及び調査にあたり現地調査・現地会議を含めた実現性の高い調査を進めるべく、対象地方公共団体、国土交通省下水道部、学識経験者、関係法人・機関、調査担当企業等による産学官調査チームを速やかに編成することが提案され、了承されました。

本分科会としては、当該調査に対する助言を行うとともに、復興に関連する他の調査や研究等についての情報共有を行うこと、そして、このような新しい下水道システムが被災地域や全国に普及するための制度・仕組み等についても議論を行うことで合意されました。

○下水道法施行令の一部を改正する政令が閣議決定されました！【下水道企画課】

10月25日に標記政令が閣議決定され、10月28日に公布、11月1日に施行となります。概要は以下の通りです。資料については下記の下水道部HPにて掲載しております。

・「循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法」を、令第5条の6第1項第3号の表の計画放流水質の区分のうち、当該処理方法が代表的な処理方法とされる区分に追加します。なお、A-JUMPの成果やコスト情報、維持管理情報など盛り込んだ『下水道への膜処理技術導入のためのガイドライン [第2版]』が下水道部HPに掲載されていますので、導入検討の際には参考にさせていただきますようお願いします。

リンクはこちら↓

本編：<http://www.mlit.go.jp/common/000146906.pdf>

別冊：<http://www.mlit.go.jp/common/000146907.pdf>

・令第9条の4に規定する下水道を使用する特定事業場に対する排除基準のうち、1,1-ジクロロエチレンに係る基準を0.2mg/L以下から1mg/L以下に緩和します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000145.html

○パブリックコメントが開始されました！【下水道企画課】

～地方分権改革一括法関係の下水道法施行令の改正案について～

標記政令案について平成23年11月23日までの期間でパブリックコメントを実施中です。当該政令の公布は11月末を予定しております。改正の概要は以下の通りです。詳細については下記URLをご参照下さい。

・事業計画の都道府県知事への経由事務について定めた令第4条後段及び令第17条

の4後段の規定を削除すると共に、当該事務について第一号法定受託事務である旨規定する令第25条の規定を削除します。

・公共下水道の構造基準、終末処理場、都市下水路の維持管理基準について条例に委任することとし、条例制定の基準は現行の下水道法施行令に規定されている基準とするものです。

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=155110604&Mode=0>

●「ウォータービジネスメンバーズ埼玉」を設立しました。【埼玉県】

埼玉県では、事業者が取り組む個別の水ビジネス案件について、案件ごとに事業者と県の関係部局が連携し海外展開の実現に向けた方策を検討するため、「ウォータービジネスメンバーズ埼玉」を設立しました。

既に4件の案件について登録しましたが、今後、事業者から新たな案件を随時募集することとしています。事業者がメンバーとなるためには、具体的な案件の登録の申請、審査の上、登録手続きが完了します。申請できる事業者の要件としては、(1)日本国内で登記されていること、(2)原則として本社や営業所など活動の拠点を埼玉県内に有することが必要です。詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/wbms.html>

●放射能測定業務の測定対象を拡大【JS】

～脱水汚泥に加え、焼却灰、熔融スラグ、下水も測定～

日本下水道事業団(JS)では、8月29日から脱水汚泥の放射能測定業務を実施していますが、地方自治体における焼却灰等への測定ニーズを踏まえ、脱水汚泥に加えて、焼却灰、熔融スラグ及び下水(処理水含む)に測定対象を拡大しました。測定単価は、試料の種類に関わらず1検体あたり2万円(税、送料、容器代込み)です。測定は1検体から受付け、スピーディに結果をお知らせします(通常、JSに試料が到着した翌業務日に速報値をFAXでお知らせします)。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。お申込み、お問合せは、JS技術戦略部・新技術推進課(TEL:03-6361-7838、housha@jswa.go.jp)へどうぞ。

放射能測定業務の詳細についてはJSホームページをご覧ください。

http://www.jswa.go.jp/gijutu_kaihatsu/topics/housha.html

●セミナー及び技術発表会の開催について【下水道管路管理業協会】

標記行事を以下の要領にて開催しますのでご案内します。

開催日時：平成23年11月16日(水)午前9時50分～午後3時(受付午前9時30分～)

開催場所：損保会館 大会議室（東京都千代田区神田淡路町2-9）

参加費：無料

内容：第4回管路管理セミナー（午前）

「管更生工法に関する最近の動き」

「東日本大震災の支援活動に関するパネルディスカッション」

第13回下水道管路管理技術発表会（午後）

下水道管路管理に関する新技術や施工例など4件の発表

申込締切：11月4日（金）申込者が多数の場合は参加をお断りすることがあります。

問合せ先：公益社団法人日本下水道管路管理業協会事務局

TEL 03 (3865) 3461、3575

詳細：協会ホームページをご覧ください。

<http://www.jascoma.com/jigyo/index-gyoji.html>

=====

【参考情報】

◆塩浜の入江崎水処理センター 国交大臣賞に輝く <10/21 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20111021/CK2011102102000043.html>

◆明電舎、上下水道施設の業務効率化するクラウド型サービス <10/24 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/digital/nikkanko/NKK201110240015.html>

◆下水道法施行令の改正内容が閣議決定 終末処理場放流水の水質基準など規定 <10/25 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=26006&oversea=0>

◆猪苗代湖、裏磐梯 リン除去浄化槽義務づけ <10/25 福島新聞>

<http://www.kfb.co.jp/news/index.cgi?n=2011102512>

◆「水ビジネス」福岡市も <10/25 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/270097>

◆バイオガス活用 市下水処理センター 資源循環型 国が表彰 生ごみ、汚泥乾燥し肥料に <10/26 北海道新聞>

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/sapporo/327833.html>

◆東電、汚泥焼却灰諸費用を負担の方針 <10/26 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20111026-OYT1T00971.htm>

◆高知大など産官学開発 微生物活発化状態保つ <10/27 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kochi/news/20111026-OYT8T01040.htm>

◆多摩・汚泥焼却灰、きょうから埋め立てー都下水道局 /東京 <10/27 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/tokyo/news/20111027ddlk13040233000c.html>

◆下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

